

近況報告

独立行政法人国立病院機構 九州がんセンター

画像診断科 山路彩子（やまじさいこ）

ご無沙汰しております。2015年4月より独立行政法人国立病院機構九州がんセンターに転勤しました診療放射線技師の山路と申します。皆さまお元気にお過ごしでしょうか。

九州がんセンターは、本年3月1日に全面建て替えによる新病院がオープンしました。新しい九州がんセンターは、最高のがん医療を提供するため新たに放射線治療装置を備えて「高精度放射線治療センター」のさらなる充実、放射線診断部へのPET/CTや高精度CTの新設など、多くの取り組みが行われました。新病院はオープンしているのですが、私が主に業務をしている「高精度放射線治療センター」は現在、新旧病院に分散された状態です。3台保有している放射線治療装置の移設が未だ完了しておりません。放射線治療装置の移設はただ移動するだけでは完了とはならず、移設後に装置のビームデータを再取得&モデリング&検証しなければなりません。最短でも約1カ月を要する作業です。貴重な経験ですが、正直もうした

くありません・・・移設が完了する年末までもう一息なのでスタッフ丸となって頑張ろうと思います。がん専門施設として、病院の基本理念である「病む人の気持ちを」、さらに「家族の気持ちを」常に考えながら、精一杯努力したいと存じます。皆様方のご指導ご鞭撻の程、何卒宜しくお願い申し上げます。



写真は画像診断科の定例会後の懇親会（実習生含む）です。写真を見て気付いた方もいらっしゃるかと思いますが、長崎医療センター時代は副技師長でありました田畑技師長、技師でありました西田主任と再び同じ職場で働いております。3次救急の長崎医療センター時代とは時間の流れが全く違う毎日をご過ごしております。